

水と村の歴史を見すえて (財) 信州農村開発史研究所創立30周年記念集会

財団法人信州農村開発史研究所は、1978年に浅科村（現佐久市）で起こった部落差別はり紙事件をきっかけとして「被差別部落の歴史を知りたい。部落の歴史を取り戻そう」という被差別部落の人々の思いを受けて、学習院大学に「寄贈」されていた約二万点にも及ぶ行政関係の古文書返還を経て、1980年に設立されました。その研究のために五郎兵衛記念館を「研究的な側面から支援する立場」としても位置づけてきました。

学習院大学と浅科村との「寄託契約証書」「合意書」では、古文書の保管場所は浅科村が管理運営に責任を負う浅科村所在の「(仮称)農業開発史研究所」(当研究所)とすることが明記され、さらに、学芸員の配置など適正な処置を講ずることも明記されています。

当研究所は浅科村時代はもとより、佐久市になってからも、民衆の歴史をひもとく研究所としてその成果をみんなのものにするために「基礎研究シリーズ」や研究紀要『水と村の歴史』(年1回)、『信州農村開発史研究所報』などを出版し、広く地域の歴史を明らかにしてきました。

その成果を「学校同和教育・社会同和教育」に生かすべく種々の活動を行ってきました。その結果、当研究所に県内はもちろん全国から、多数の人たちが視察研修に訪れています。また、全国的にも注目される成果を挙げてきました。

当研究所創立30周年を迎え、今後も佐久地域を拠点として全国に貴重な文化遺産と、その研究の成果をひろげていきたいと考えています。

つきましては、下記により財団法人信州農村開発史研究所創立30周年記念集会を開催いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご臨席を賜りたくご案内申し上げます。

財団法人信州農村開発史研究所
理事長 佐藤 治郎

記

- 日時 2010年12月11日(土) 13:00～受付
13:30～開会
- 場所 佐久勤労者福祉センター第5会議室(2階)
- 内容 13:30～13:45 開会行事 主催者代表あいさつ
来賓挨拶
13:45～15:00 記念講演 「転換する職人意識－戦国の神意識と差別－」
笹本正治さん 信州大学副学長
(財)信州農村開発史研究所所員
15:10～16:40 所員トーク
川向秀武さん(当研究所所長)
森安彦さん(元信州大学教授)
山崎圭さん(中央大学准教授)
進行 齋藤洋一さん(当研究所主任研究員)
16:40～16:45 閉会行事
- 参加費 無料
- 主催 (財)信州農村開発史研究所
- 後援(予定) 佐久市、佐久市教育委員会、部落完全解放・人権擁護推進佐久地区
実行委員会、部落解放同盟佐久地区協議会

連絡先	佐久市甲14 (財)信州農村開発史研究所 TEL 0267-58-3118
-----	---